





**sanwa**

株式会社三和サービス創立50周年記念誌

社是

三和は人々に、美しさと快適さと安全を提供できる

優しい人間環境の創造の演出者である。

# Contents

50周年記念誌制作によせて ————— 7

**This is Sanwa!** ————— 8

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み

**What is Sanwa?** ————— 18

現社員からの直球質問に、現社長が真剣回答

**History** ————— 24

三和サービスの歩み

**Business information** ————— 26

事業案内

**Location** ————— 28

業務所在地

**Workplaces** ————— 30

事業所紹介

**Logo mark** ————— 36

ロゴマークの変遷

**Decorated** ————— 37

叙勲

**Brightness ①** ————— 38

社内報アーカイブ 2001-2022

**Brightness ②** ————— 40

4 コマ漫画

**Promotions** ————— 42

オリジナルグッズとノベルティ

**Cleaning tools** ————— 44

清掃道具の変遷

**Employee benefits** ————— 46

福利厚生



## 50周年記念誌制作によせて

昭和48(1973)年3月、林ビルサービス株式会社(現・株式会社三和サービス)設立以来、三和サービスはビルメンテナンス業を主軸に多様な業務を担う企業として展開し、本年おかげさまで50周年という節目を迎えることができました。

長年にわたるまわりの皆様からのお支え、時代をつないできた従業員、先輩諸氏の努力なくして、三和サービスの50年を語ることはできません。心より感謝いたします。

これを機に、私たち社員の手で、50年間の記録と記憶をもとに記念誌をつくることにいたしました。

けれども私たち社員も草創期は知りません。そこで、まずは設立以前の話、そもそも創業者はなぜ清掃という仕事と巡り合ったのか、といった原点に立ち返ることから始めたいと考え、創業者であり現会長の林信之から話を聞きました。三和サービスの誕生、そして成長の過程をたどったこの聞き語りをご一読いただくと同時に、当社の仕事の変遷をはじめ、50年を彩る思い出の数々、現社員の取り組みなどを感じ取っていただければとても嬉しく思います。

この記念誌が半世紀を伝える足跡となり、これからの歩みの新しい一歩となるように。ネクスト25、そして次の半世紀へと向かっていけるようにと願っています。

株式会社三和サービス  
創立50周年記念事業実行委員会

# This is Sanwa! ①

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み



## 清掃業との出会い

私が「清掃」という仕事の存在を知り、その可能性に気づいたのは、中京工務店（建設業）の営業をしていた頃のことでした。この会社は昭和36（1961）年に姻戚関係者が起業した企業で、主に岐阜県内の教職員のための住宅を請け負っていました。私も創業時から加わり、約12年勤めました。

その後、私は株式会社三和サービスの前身となる、林ビルサービスという名称で昭和48（1973）年に企業を興しました。（中京工務店に関しては、私が代表となり、事業内容を変えて三和グループの一社である三和道路維持株式会社の礎としました）。そもそも清掃業との出会いは、私の中京工務店時代にあったわけですので、ここから話を進めたいと思います。

でもその前に、中京工務店の前職についても少しお話します。それまで私がどんな職に就いていたかといいますと、今とはまったく畑違いの繊維関係の会社に勤めていました。ガチャマン景気※1

とってガチャンと機械を動かして生地を織ればそれだけ儲かるといった頃で、私は紳士服の織物を扱っていました。織物が売れるか売れないかは織物の絵柄のセンス、今でいうデザイナーの腕によるところが大きく、まるで博打のようでした。また、取引は現金ではなく「手形」。この手形の恐ろしさもこの業界で嫌というほど知りました。不渡りを出せば、根こそぎもっていかれるという怖さ。そういう非情な事態を何度も目の当たりにしました。この体験が、どんなに苦しくても手形だけは使ってはいけない、という私の信念になり、経営者となって以来、守り続けてきたことです。

このように浮き沈みの激しい繊維業界を経験した後に、私は建設会社に入りましたが、私自身には建設に関する技術、知識はまったくありません。営業に力を注ぎ、岐阜県内を車で走り回る日々でした。

その時代の出来事を感じる鮮烈な体

※1 【ガチャマン景気】昭和25（1950）年頃から日本で発生した景気拡大現象。織機をガチャンと織れば万のお金が儲かる」といった意味からガチャマン景気とも表記され、また繊維や紡績といった糸偏（いとへん）の付く漢字の業種が儲かったことから「糸へん景気」とも呼ばれていたそうです。

※2 【飛騨川バス転落事故】昭和43（1968）年8月18日午前2時11分、加茂郡白川町地内の国道41号で起きた事故。県内（奥美濃）は時間雨量149ミリという、岐阜地方気象台始まって以来の集中豪雨で、荒れ狂う飛騨川に転落したのは乗鞍岳の観光登山に向かい、豪雨のため登山を断念して引き返す途中の観光バス2台で104人もの犠牲者が出ました。転落したバスから奇跡的に助かったのはわずか3人でした。

# 1961-1973

験を一つあげるとすれば、昭和43（1968）年に国道41号で起きた土砂災害による飛騨川バス転落事故※2です。事故が起きた数時間前に、私も豪雨の中、あの辺りを車で走っていたのです。あまりにも凄まじい雨で何も見えない。車を進めることができず、車を止め山側で休んでいました。時間が数時間後であれば、事故に巻き込まれていたかもしれない。九死に一生を得ました。

さて、中京工務店も建設会社でしたから、建物を引き渡す前には建物内を清掃し磨き上げるという必要がありました。今でこそ、ビルメンテナンスの一環、建物運営の一部として清掃がありますが、建物の引き渡し前の清掃が私の目の付け所でした。建設業界に身を置いていたので、建物には必ず清掃が必要、ということに気づいたわけです。大きな建築物であればなおさらのこと。当時、建物の清掃は外注するのが基本でありませんでしたので、これは必ず需要があると。

時代はまさに公共施設も含め、多くのビルが建設され続ける頃でした。ビルがあれば、必ず清掃がある。清掃という仕事に大きなチャンスがあると感じたのが一念発起した理由です。

自分で事業を立ち上げ、清掃業をしようと独立し、法人化したのは昭和48（1973）年。37歳の時でした。高校卒業後、家庭の事情から大学への進学を諦め、大企業に採用されず、体も弱かった私でしたが、一匹狼でもいいからいつか事業をしたいと心に秘めていました。私の生い立ちや環境、その中で培われた強い思いについてはまたお話するとして、私が清掃業に着目して会社を興したのは、工務店での仕事が契機であり、私が社会人として経験してきた業界は、清掃業とは一見関係のない繊維業と建設業でした。

# This is Sanwa! ②

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み

## ポリッシャー1台と数個のバケツから始まった

当社の前身、林ビルサービスを法人化する前、個人事業主としてスタートしたのはその1年ほど前。私の生家がある岐阜県大野町牛洞に事務所を置いて約2年間、ここを拠点としました。当初は私と家内を含め3~4人という体制で、まずは電気ポリッシャー※3を1台購入。当時は1万2千円でしたか。これは「洗い」と「磨き」ができる機械で、これがなくては建物の清掃はこなせません。逆に言えば、これさえあればさまざまな仕事を受けることができるというものでした。ポリッシャー1台と数個のバケツ、それからワックス1缶。これが初期投資での仕事道具でした。

清掃の事業を始めてからは、昼夜を問わず仕事をしました。朝7時ごろに事務所を出て、建物の営業時間前までに仕事を終えなくてはいけない現場もあれば、営業時間後、遅い時間に作業をする仕事もありました。建物全体、床清掃、トイレのほか、窓のガラス拭きなど。担当した建物は数々ありますが、交通公園、岐阜中署、ポーリング

場など(現在は建物がありませんが)が思い出されます。ちなみにポーリング場は、レーンの清掃などは専門のプロが行っていました。

当時はまだ娘たちも幼く、二人を家に置いておくことができませんでした。ダットサン※4に子どもを寝かせて夜中に仕事をすることもたびたびで、それは二人が家で留守番をできる年頃になるまで続きました。

そのうち役所も建物の清掃を外注していることに気づいたので、手始めに入札の指名を受ける努力をして、美濃の総合庁舎の仕事に入札することができました。

この頃は「やりたい!」と思えば指名をくれる時代で、お客様からは「清掃業者を探さなくても済むから助かった!」と言われるような時代でした。しかも、私の場合は運が良くて、仕事をいただく時、たまたま出会った人が上層部の方ばかりでその場でパッと決めてくださることが多かった。今思うと本当に恵まれていました。

とにかく仕事は何でもやってやろう!と



左上：1970年代の交通公園  
右上：閉鎖した後のコーエンボウル  
下：夜の交通公園

# 1973-1976

思っていて、一か月の売上げがびっくりするほど多い仕事もできるようになっていきました。困難だったのは当時ストリップエレベーターと呼ばれていたすべてが見渡せるエレベーターの掃除でした。経験がなくてもやったる!という気持ちで受けたものでした。

いずれにしろ、当時は同業者が少なく、この業界にどんどん足を踏み入れようと思って夢中になってやりました。業界全体としてはある意味のんびりしていて、ガツガツしていなかった。同業同士で競い合うようなふうでもなかったんですね。

※3【ポリッシャー】モーターで円形のブラシやパッドを回転させて効率よく床の清掃や磨き作業、古いワックスの剥離作業などを行う清掃機械。三和サービスで使用してきたポリッシャーの変遷をP44-45でご紹介しています。ぜひご参照を!



※4【ダットサン】戦前から日本国内外で使われていた日産自動車のブランド名。平成26(2014)年、約30年ぶりに新興国向けブランドとして復活しましたが、本年4月にダットサンブランドの展開は順次終了することが報道されました。長い歴史を有し、乗用車やピックアップトラックなどダットサンの名を冠した車種が多様にあるため、人それぞれ、ダットサンと聞いて思い浮かべる車種は違うようです。会長の話に2度登場するダットサン(P10・P13)のうち、幼い子どもを乗せていたのはバンタイプだったと推測できますが、創業時に会長が乗っていたダットサンは写真のダットサンブルーバードP310型で、初めてブルーバードの名称が用いられた記念すべき車。記念誌づくりに携わる実行委員が車種を突き止めようと、インターネットを駆使して絞り込み、会長に確認してもらってやっと判明しました。【写真提供：日本自動車博物館】

# This is Sanwa! ③

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み

## 研美社を合併して社名変更。三和サービスの誕生



建設途中の本社ビル(1998年9月29日)

仕事を始めてまもなく金融機関の清掃も手掛けましたが、この時すでに金融機関の清掃の仕事をしていた研美社という会社がありまして、ここの福井社長とのつきあひも私にとって幸運でした。私は彼の仕事を知ったことで、清掃業の幅に気づいたといえるかもしれません。ただ福井さんの教えてくれた掃除の方

法は少し古い方法でしたね。小さく切った金タワシで汚れを取るといったような感じでした。

福井さんは私より10歳くらい年上で、息子さんがおられたけれども、会社を継ぐつもりはないということでした。そこで林ビルサービス株式会社が研美社の業務を引き継ぎ、昭和51(1976)年に

合併。同時に社名を林ビルサービス株式会社から株式会社三和サービスに改名しました。

三和サービスの「三」は何を表しているのかといいますと、三和の「三」は、私と福井さん、そして福井さんの同級生でジュウシンさんこと高橋重信さんという当時岐阜県議会議員をしていた人とのつながりから。三人が協調してやっていこうという思いで「三」をとって名付けました。

当時の拠点は岐阜県庁の近く、岐阜市藪田にありました。中京運輸が作ったプレハブを借りて電話を置き、事務仕事は牛洞から年配の男性に来てもらってやっていた。この藪田の事務所を使っていたのは昭和53(1978)年頃までだったでしょうか。寒いところだったなあと記憶しています。

次に拠点にしたのは岐阜市清本町でした。ヤマニパッケージさんの横ですね。清本町に事務所があった頃、とても



建設途中の本社ビル内部(1998年11月19日)

よく間に合う女性の事務員さんがいてくれたことを今もよく覚えています。清本町には平成11(1999)年に現在の本社ビルを建てて移転するまで、約20年間おりました。本社ビルの新築移転についてはまた後で詳しくお話したいと思います。

こうして振り返ると、牛洞、藪田に事務所があった頃までが、我が社の創成期といえるかもしれませんね。清本町に事務所があった約20年を加えると、50年のうちの約半分となりますか……。

思い出は本当にいろいろありますが、支払う給料がなかったり、ダットサンを購入する費用を捻出したりするために「100万円を借りよう」と考え、ある金融機関に出向いたが断られた、という経験も忘れられません。これは頼む銀行が間違っていたということもありました。あとで岐阜信用金庫に行き借り方を教えてもらい、国民金融公庫で借りることができました。

# 1976-1999

こういったことは教えてもらって初めて知ることの一つで、この時に銀行の大事さを学びました。

銀行とのおつきあいというのは、会社を経営している限り、ずっと続くことです。ある時、他の企業に比べて三和サービスの金利が高いことを知り、銀行の担当者とやりとりしたことがあります。私としては、自分の評価が低いと感じ、「ばかやろう！」と腹が立ったわけです。その後、銀行側からは「金利は少しずつだけ下げていくから」と担当者の上司になだめられて……。

この時にハッと気づいたのは、銀行員とはお客さんとのトラブルがないことを常に願っている、ということ。だから私も自分の主張をし過ぎて担当者を言い倒してはいけない。怒りにまかせて言い過ぎては駄目ということを学びました。そんな経験から、私としては凄く頑張って実績を積み、信頼をつけていくことに力を注ぎました。

創業した頃は税金を納める方法の行き違いで、税務署が家まで来たこともありました。私としては手続きをしたばかりだったので、その誠意を認めてもらえるように主張したこともあります。

想定外のトラブルが起きても、時に低い評価をされて悔しくても、自分で切り拓いてきた道という自負はありました。



三和グループ新社屋竣工記念祝賀会(1999年2月21日)

# This is Sanwa! ④

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み

## 心を支えたもの～私の生い立ち、病気、家族～

個人的な話題で恐縮ですが、事業を興した私自身のことを振り返りたいと思います。私は昭和10(1935)年、大野町牛洞に生まれました。三和サービス創業50周年の節目と同じ令和4(2022)年の誕生日には87歳となり、数え年でいうと米寿を迎えます。高校同級生たちからは、林が最初に死ぬだろうといわれるほど体の弱い私だったのに不思議です。人生

の長い月日を思い返す時、自分ほど幸せな男はいないと思う今日この頃です。

戦前は柳津に住んでいて、空襲も体験しました。当時父は警察官。とにかく真面目で人が良い人でした。戦後はその人の良さが裏目に出て、家や土地、財産を失うという目に遭いました。幸い母の在り所の力で、蔵付きの座敷一部屋だけを残

してもらうことができました。母の在り所は豪農ほどではありませんが地主でした。

そのようなことで林家は一度破産した家といえるわけですが、私には父方も母方も家柄が良かったという勝手な誇りがあり、それが支えとなって「父が失くした多くの財産を取り返したい」「片田舎でも発奮したい」とずっと思っていました。

小学校二年生のときに骨髄炎という病気になったことも人生に多大な影響を与えました。足が腫れて真っ赤になる病気です。昭和18(1943)年の戦中でしたから、まだ日本には抗生剤のペニシリン※6がありません。もしペニシリンがあったら、今も残るこんな酷い傷跡にはならなかったはず。現代の医者でさえ、私の傷跡に驚いて「初めて見ました」というくらいの酷さです。ただ、発症当時、おそらく父が駆けずり回ったんでしょう、リバノール※7という傷を治す注射を見つけてきてくれました。これを打っ



写真左から林信之（中学3年生の頃）、信之の父・芳男、母・あめを

※6【ペニシリン】世界で最初に発見された抗生物質。昭和4(1929)年、イギリスの細菌学者 Fleming がアオカビの一種の培養液中にグラム陽性菌の発育を阻止する物質を発見しペニシリンと命名。戦後、日本で発売されたペニシリン1本の値段は当時の価格で3930円(現在の価格で約50万円)。1日4本、1週間使用すると1000万円を超える高価な薬だったそうです。ペニシリンは命を救う薬でしたが、あまりにも高価だったため、一般の人が使えるようになったのは昭和35(1960)年頃からでした。

たおかげで命は助かりました。

病気のこともあり、私は高校を卒業するので精一杯。卒業時にはすでに父も他界してしまいましたが、大学も行きたくはなかったけれど諦めました。当時は就職氷河期で、銀行や2~3か所の大企業も受けられなかったけれど不採用。自分は一流の会社へ行くことはできないだろうと覚悟しました。当時は体も小さく顔は青白く、面接ではひ弱な印象だったと思います。だから中小企業に入って、いずれは独立して事業をやっていきたくて考えるようになりました。

家内とは繊維業界に入る前に北海道で知り合い、28歳の時に結婚しました。なぜ北海道かといいますと、私が不自由な足のことなどで人生に大きな挫折感、絶望感を持っていた頃、岐阜の地元のお坊さんが浄土真宗大谷派の仏教青年会を熱心に盛り上げようとしていたことに理由があります。この会は青年をどうやって仏教的な面から導くかという会

※7【リバノール】傷口の消毒やうがいにも使う殺菌剤(アクリノールの商標名)。現在でも薬局で見かけます。



昭和40年代の家族写真。  
中央が妻の林多恵子（存命中は三和サービス副社長）  
右が長女の知恵、左が次女の信美

でした。

ある時、青年仏教会から北海道へ行く機会があり、それが縁で家内と知り合いました。結婚を決めるときは、家内に「貧乏生活は覚悟して来い」と言いました。でも私としては家内に家計の苦勞はさせない誓ってやってきたつもりです。家内も北海道から岐阜へ嫁ぐのですから、かなり勇気が必要だったと思います。

その頃はとにかく何か違う世界を求めていて、自分に合った世界とは？と探し続けていました。移動は夜行列車でした。今も旅行が好きなのは、若い頃に自分探しの旅にも片鱗があるのかもしれない。

結婚後に母親を亡くしました。母は何もできる人ではなかったのですが、私がすることをただ何も言わずに見守ってくれました。心配をかけ続けた母を亡くした頃は人生のどん底だったと思います。

故郷である牛洞に戻ったのは、自分の力のなさを知ったから。中京工務店で

仕事をしている時に清掃業をやると決めて、それで帰ってきました。自分の力を地元の人が信用してくれるのは、父の影響もあると思います。

父や母、家内。事業を興した私のことを支えてきてくれた身内や経験に感謝するばかりです。そして、足の手術をしてくださった岐阜大学の初代整形外科部長に出会えたことも幸いでした。先生は医学の教科書を多く執筆され、日本でも指折りの整形外科医。岐阜大学を退官されてからも肢体不自由児を診るところで病院長として尽力された知見、経験、お人柄が素晴らしい方です。絶望感に苛まれる私を救い、その後病気が再発した時にも救いの手を差し伸べてくださった先生の存在なくして、今の私はないと思っています。

# This is Sanwa! ⑤

林 信之 会長が振り返る三和サービス 50 年の歩み

## 本社ビル新築移転、営業所の開設

三和サービスの半世紀を振り返る時、その前半を経た後の大きな転換点となったのは平成11(1999)年2月、本社ビルの新築移転です。大野町牛洞からスタートして岐阜市藪田、清本町と事務所を移してきて、現在の地、岐阜市西鶉に来たわけです。

この場所の話があった時、すぐに見に行き「ここは面白い!」と直感しました。とはいえ、土地と建物を含めて3億円は必要になるため、当初は困難だと思いました。ところが、その頃大変お世話になっていた岐阜信用金庫本店営業部部長のWさんに相談すると即応してくださり、何の問題もなく貸していただけることに。この時の驚きと嬉しさは生涯忘れられません。

建物の設計と施工をお願いしたのは市川工務店と土屋組です。清掃業をしている我々だからこそこだわったのは、掃除のしやすさ、雨漏りしないこと、水に浸からないこと。またエントランスには「受付」も設置。ここに常に社員を配置してお客様を気持ちよく迎えするスタイルは総合建物管理を

担う当社の象徴であり、おもてなしの心。おかげさまでご来訪の方々にお褒めの言葉をよくいただきます。

新しい社屋になって実感したことの一つは、社員の求人がしやすくなった点。経営者である私としては、たとえ掘っ建て小屋のような事務所でも無借金のほうが良いと思っていたのに、これから社員になろうという人は社屋の見栄えや堅牢な印象が重要ということがよくわかりました。清本町時代は採用に苦労しましたが、新社屋になった時には新入社員が4~5人入り、新卒も採用しました。さらにこの年は孫(林正和社長と林信美管理本部長の長男)も生まれ、公私ともに新たなスタートになったと思います。

本社ビル新築移転前後の数年はとにかく慌ただしく、平成9(1997)年から15(2003)年は相次いで営業所※8を開設。入札のチャンスを獲得するための拠点を精力的に増やしていく時代でもありました。



岐阜県ビルメンテナンス協会の会長職にあった頃。業界全体の課題にも積極的に取り組んだ。

※8【三和サービス営業所】1997年大垣営業所(2001年に大垣支店に改組)、1998年高山営業所、2002年東濃営業所、2003年名古屋営業所を開設。2011年には東京分室京葉支店を開設。

## 一定の業務にとどまらず、未来へ

三和サービスが清掃や設備管理のビルメンテナンス業を軸に展開していく中で、その後の大きなチャレンジを挙げるなら、それは指定管理業と行政事務サポート業への着手でしょう。

指定管理者制度※9とは平成15(2003)年の地方自治法改正により創設された制度ですが、その一年前に当時の小泉内閣の構造改革、いわゆる骨太の方針を読んで、「我々がやっているものを失うのでは」と強い危機感を持ちました。「民にできるものは民で」という改革が進めば、我々も公の施設の管理・運営に携われる可能性はあるものの、三和サービスには人々を楽しませる文学や音楽を含めた芸術性やイベント性のある内容を担う能力はない。すぐにパートナーになってくれそうな企業を東京や名古屋、岐阜で探し歩き、提案書作成も苦心して経験を積んでいきました。手痛い失敗もしながら、まさに手探りでやってきて、一つひとつ指定管理業の実績を重ねてきた感があります。

行政事務サポート業も他社に先駆けて開始しました。具体的には大野町の窓口業務として住民票、印鑑証明、戸籍謄本、収入証明発行業務を担っています。この分野もまだまだ伸びしろがあるはずです。

ところで、三和サービスが運営する指定管理施設が増えた今(令和4年6月現在7施設)、私が着目しているのは、これらの施設について「データサイエンス※10」的に考えてはどうか?ということ。3年にわたり滋賀大学の講師として招いていただき講義をしたのが縁で、滋賀大学に全国初のデータサイエンス学部が創立されると同時期から私自身もデータサイエンスに取り組むようになったからです。

平成23(2011)年には林正和が代表取締役社長に就任しました。私は会長となり、このデータサイエンスという勉強を懸命にしているところです。企業は一定の状態では、いずれ死んでしまう。会長職の私は、会社の未来、ずっと先のことを考えていく。それが今の私のあり方です。



林会長と林多恵子副社長。本社新築移転の頃

個人的なことながら、創立50年と米寿を迎えた節目の年に、旭日双光章・生活衛生功労を受章したことも望外の喜びです。三和サービス創業後まもなく、私は岐阜県ビルメンテナンス協会理事に就任し、社団法人化後には副会長、会長を務めてきました。

自社と業界全体の発展は両輪です。これからも地道に取り組み、未来への道を歩み続けていきたいと願っています。

※9【指定管理者制度】多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的として導入された制度。(岐阜県ウェブサイトより抜粋)

※10【データサイエンス】社会にあふれているデータから価値を引き出す学問。ICT(情報通信技術)の進化した現代では、あらゆるビジネスや医療、教育、行政等においても、高度なデータ処理能力、データ分析力が必要。データから有益な価値を引き出すためには、これらの能力に加え、様々な分析経験を積むことが求められています。(滋賀大学データサイエンス学部ウェブサイトより抜粋)

# What is Sanwa? ①

現社員からの直球質問に、現社長が真剣回答

## 林正和社長が考える「三和サービス」とは何か



三和サービス創業50周年記念誌を作成するにあたり、「社員から社長へ聞きたい質問」を募り、まとめて、社長に問いました。

私たち社員からの直球かつシンプルな質問に対する社長からの答えには、岐阜という土地柄やビルメンテナンス業に対する思いをはじめ、会社や社員への責任や願い、50年という歴史を持つ

「これからの三和サービス像」まで広がりがあります。

現社員と現社長のQ&Aをきっかけに、社長の考えを共有し、Next25、創業100年へと歩んでいけたらと願っています。

### 林 正和 社長 プロフィール

昭和43(1968)年、高知県四万十市生まれ。日本体育大学体育学部卒業後、高等学校教諭を経て東京美装興業株式会社に入社し、主に東京・横浜の民間大型物件を担当。在職中に林信之会長の次女、信美(現・本部長)と知り合い、結婚。三和サービスに入社し、平成23(2011)年に代表取締役社長に就任。現在に至る。

——— 岐阜に来たときの印象はどうでしたか？

県庁所在地である岐阜市の真ん中を長良川が流れ、岐阜グランドホテル前では泳いでいる人もいて、人口40万人を超える中核都市なのに自然にあふれ、バランスのとれた環境に恵まれた住みやすい街という印象。

出身地の四万十市と似ている(人口は1/10以下ですが)。また、県内を見渡すと広いと思いました。

——— 岐阜のビルメン業界の状況を、東京や横浜などの都会と比べてどう思いましたか？

以前の会社では、東京・横浜ともに管理物件のほとんどが民間の大型物件であったのに比べ、こちらでの管理物件は官公庁関係が多く、また売上規模も小さな物件が多いため管理には手間がかかり大変だと感じました。

売上規模の大きな物件では、責任者を

配置し物件ごとに管理ができますが、それに比べて小さな物件では本社担当者が数多くの物件をフォローするために時間と手間が掛かる割に効率が上がらず、利益率も

また、見積書作成についても前職とは違いがあると実感しました。官公庁では内容回数が決まったものに単価を落とし込むやり方、民間では作業方法・回数・ケミカル・マシン等作業内容を細かく提案し、この方法だとこれだけの費用が掛かりますという提案型と、この二つを見ても方法が違います。また、契約金額(単価)が東京・横浜と比べると大きな違いがあり、このように見積書作成だけにおいても、私自身が慣れるまでが大変でした。

業界については、私は以前の会社には5年弱しか在籍していない下っ端で、見積や現場管理が中心の社内業務であったために東京の業界についてはボヤッとしか解らず、系列系のビルメン(不動産・鉄道・建設・流通等)は親会社に特化した物件が多いという程度の知識しかありませんでした。ただ、協力会社とは話す機会が多く、夜間専門やカーペット専門、ガラス専門に特化した会社でも当時の三和サービスより売上の多い会社が多くあり、大都市と地方都市での格差、規模の違いを知りました。



少なく「いかにクレームや問題を起こさずに管理することができるのか」ということが利益に繋がるので、担当者への負担が大きくなっていると思いました。

# What is Sanwa? ②

現社員からの直球質問に、現社長が真剣回答

## [三和サービス社長に就任して]

—— 座右の銘はありますか。仕事をする上での信条を教えてください。

座右の銘「初志貫徹」

会社を自分の代で潰さない。今より発展させて次の世代に繋げなければいけない、という思いが強く、その思いでやっています。

信条「優しい人間環境を提供し続ける企業でありたい」

三和サービスは、創業以来清掃をはじめ、世の中のニーズに沿って、必要とされるサービスを増やしながらか、そのサービスを提供してきました。

以前からの世の中とは違い、少子高齢化・多様化・国際化と時代は大きく変わりはじめていますが、常に人間に寄り沿ったサービスの提供を続けていくことで、より力強い歩みを続けていきたいと思っています。

信念「仕事をするうえで、『永続性』が一番大事」

今提供しているサービスが世の中に必要とされているものなのか？そうでないの



か？ということが重要だと考えています。

そもそも、企業は社会の公器であり、三和サービスでいうと取引先・従業員・施設利用者に必要とされる企業でなくてはなら

ず、その他多くの企業があっはじめて社会が構成されています。企業の発展＝地域社会の利益になるからです。

三和サービスが企業として存続し続けることで、三和に「任せて良かった」「働いて良かった」に繋がり、形を変えてでも持続的な発展を続け、次の75年・100年と存続していかなければならないからです。

そうすることで、会社が成長し、今居る社員の生活を守ることになり、三和サービスに関わる仲間を増やすことに繋がるからです。

—— 社長にとって目標となる経営者はどんな人ですか。

「会社が健全な利益を上げ、成長していきける組織・仕組みを作れる人、そんな社風を築ける人。」

会社は、取引先・従業員・協力会社・仕入業者等多くの人が関わって成り立っています。その会社が消滅するということは、こ

れまで一生懸命に働いてきた人を路頭に迷わせることになりますし、三和サービスに関わってくれた多くの企業の信頼を裏切ることになります。

そうならないために、自分の信念や考え方をしっかりと持ち、実行力が伴い、まわりとの関わり方が上手く、目の前のことだけでなく広い視野を持った人にならなければいけないと思います。

—— 社員には、どんな社長だと思われたいですか。

「共に幸せになっていく仲間」

私の考える理想の社長像は、旗を振ってガンガン人を引っ張って、決断力・実行力・責任感が強く、頼りがいもあり仕事に厳しく、人にやさしい人だと思っています。しかし、それよりも、社長としては方向性を明確にし、意思決定を行い、責任を取るという立場・役割の違いはあっても、同じ三和という船に乗っている人として「共に幸

せになっていく仲間」だと思われたいと思っています。

なぜなら、船はクルーそれぞれが役割を実践して無事に航海していますが、何処か



の役割が欠けても、誰かが欠けても前に進むことも出来ず、いずれは沈没してしまいます。

企業も同じで、今居るみんながそれぞれ

の役割を実践してこそ企業の成長・継続があると考えています。それぞれが、役割を請け持った運命共同体の仲間だと思っているからです。

[これからの三和サービス像とは]

—— 今後に向けてどのような人材を求めていますか？(三和サービスの未来像も含めて)

今現在、技術力と提案力が弱いと感じていますので、即戦力としては、そのような資格・能力を持ち合わせた人材を必要としています。

これまでも述べてきましたが、三和サービスは、形を変えてでも未来永劫継続していくことができる企業で在り続けたいと思っています。

一つの会社組織の中でずっと働くという意識が薄れてきている今だからこそ、三和という会社に帰属意識を持った人が必要になってきます。全員が会社の業績や

# What is Sanwa? ③

## 現社員からの直球質問に、現社長が真剣回答

取組に興味を持ち、会社の現況を常に自分ごととして考えてもらいたい。そして、自分の会社という意識を持ってもらいたいと思っています。そうすると、トップダウンでやらされている感や損得勘定でなく、どこからでも声(取組)が上がってくる会社になっていくと思っています。

その為には、三和サービスという会社や提供しているサービスに誇りを持ってもらうことが必要。社是の浸透や会社としての取組を常に発信していきたい。三和の魅力創りや働き方の改善をますます進めていかなければならないと思います。

### —— 社長が考える、「三和サービスの魅力」とはなんですか。

社是にも有るように、私たちが「美しく、快適で、安全な環境」を創り出すことで、世の中の人のためになる仕事をしている会社だということです。そして、50年もの間、世の中から必要とされて、更に要求の

度合いも高く厳しくなる中で、みんなの力でそれに応えていくことのできる会社だということです。

人間関係が希薄になっている昨今です



が、まだまだアットホームな部分もある会社だと思っています。ここ数年はコロナの関係で人が大勢集まったの餅つきや社員旅行なども出来ていませんが、これから先

を考えると、もっと多くの息抜きのできる場面が必要になり、コミュニケーションを図れる雰囲気作りが必要です。

### —— 社長自身、そして社員それぞれの「仕事でのやりがい」について、感じる事があればお話しください。

繰り返しになりますが、私たちは「美しく、快適で、安全な環境」を創り出すことで、世の中の人のためになる仕事をしている会社であり、社会から必要とされているやりがいのあるサービスを提供している会社だという前提があります。

個人でいうと、与えられた役割や業務内容はそれぞれ違います。どうしても同じことの繰り返しになり、マンネリ化して日々の業務でのやりがいについて感じづらくなっていると思います。しかし、そこから目を背けるか、積極的に関わっていくかが、一つの分岐点になるのではないかと思います。

同じ船に乗ったクルーは、誰ひとり欠けてもならないし、全員が必要な存在だと思っています。会社にとって必要な一員であるという当事者意識を持って、自分ごととして考え、行動を起こすという姿勢で仕事に臨めば、周囲に影響を与えることができその人への「評価」が生まれ、自分自身も鍛えられた成長したという「充実感」に繋がります。その中の「自身の成長」を仕事でのやりがいに繋げてもらいたいと思います。

社長としては「いい結果業績が残せて、賞与が出せ、昇給も出来、来年も頑張れるという環境を継続することが出来た」というところに責任とやりがいを感じるようにしています。

### —— 2代目として、どのような覚悟を持ち、会社経営に力を注ぎますか？

何がなんでも、会社を「自分の代で潰さない。今より発展させて次の世代に繋げる」という覚悟でやっています。

しかし、この質問をもらって改めて文字にしてみると、「次の世代に渡して船から降りよう」という風に見えて、自分ながら逃げているのではないかと感じました。

代目の立場を受け継ぐという意味は、今を築いた会長の思いも全部込みで「一生やりて行く」と決意することが、2代目の覚悟だと考え直しました。

これから先に直面するであろう挫折、そして、苦勞や不具合にどれだけ真摯に向き合えるか。汗を流し、時間を掛けてでも考え抜き、その都度自分に正直な判断をしていくという「覚悟」で臨みます。



改めて考えてみると、創業者がいて、次が2代目ということになります。必死の思いでゼロからイチを築き上げる苦勞と汗、そして、大変だった時間をショートカットして2

# Next25



# History

## 三和サービスの歩み

2021(令和3)年11月	50期(Next25)
2020(令和2)年5月	ISO14001・ISO9001を統合
2019(令和1)年4月	「可茂聖苑」供用開始(受注決定は2016年12月/15年契約)
2018(平成30)年12月	ISO27001(情報セキュリティマネジメント)取得
2018(平成30)年4月	「中山道愛知川宿街道交流館」指定管理施設指定
2017(平成29)年7月	ISO9001(品質)新マニュアル開始
2017(平成28)年2月	「可茂聖苑」PFIに参画
2015(平成27)年9月	一般建設業登録
2013(平成27)年9月	「ぎふ清流文化プラザ」指定管理施設指定
2012(平成24)年4月	「介護予防施設ばらの里」「海津温泉」指定管理施設指定
2012(平成24)年2月	「岐阜市リフレ芥見」「岐阜市三田洞神仏温泉」指定管理施設に指定
2011(平成23)年10月	介護事業部門スタート
2011(平成23)年9月	指定居宅サービス・指定介護予防サービス事業者登録
2011(平成23)年4月	東京分室 京葉支店 開設
2011(平成23)年1月	代表取締役社長に林正和が就任
2008(平成20)年10月	資本金3,000万円に増資
2007(平成19)年7月	「イオンモール各務原」業務委託スタート
2007(平成19)年4月	「大野町総合市民センター」指定管理施設に指定
2006(平成18)年4月	指定管理者として指定管理施設の運営スタート
2005(平成17)年10月	大野町感謝祭セントレア中部国際空港で開催
2005(平成17)年3月	資本金2,000万円に増資
2004(平成16)年3月	建築物環境衛生総合管理業登録
2003(平成15)年7月	名古屋営業所開設
2003(平成15)年1月	サンワ警備保障株式会社創業(資本金1,000万円)
2002(平成14)年5月	東濃営業所開設
2001(平成13)年8月	大垣営業所を大垣支店に改組
2001(平成13)年7月	ISO14001取得(県内業界初)
1999(平成11)年11月	株式会社エイチエムエス創業(資本金1,000万円)
1999(平成11)年2月	本社ビル新築移転
1999(平成11)年1月	労働者派遣業登録
1998(平成10)年10月	高山営業所開設
1997(平成9)年8月	大垣営業所開設
1994(平成6)年10月	医療関連サービスマーク取得
1985(昭和60)年12月	浄化槽保守点検業登録
1983(昭和59)年8月	資本金1,000万円に増資
1981(昭和56)年8月	建築物ねずみ昆虫等防除業登録
1981(昭和56)年6月	建築物貯水槽清掃業登録
1978(昭和53)年8月	三和道路維持株式会社に社名を変更
1976(昭和51)年5月	研美社を合併 株式会社三和サービスに社名変更(資本金500万円に増資)
1973(昭和48)年3月	林ビルサービス株式会社設立(資本金100万円)
1971(昭和46)年10月	林ビルサービス創業
1970(昭和45)年4月	ビル管法(建築物における衛生的環境の確保に関する法律)制定

(前身の株式会社中京工務店の創業は昭和36年8月)

### 社会の主なできごと

- 1970年(昭和45年) 大阪で万国博覧会開催
- 1976年(昭和51年) ロッキード事件
- 1988年(昭和63年) ぎふ中部未来博開催
- 1989年(平成元年) 昭和天皇崩御 / 中国天安門事件 / ベルリンの壁崩壊
- 1990年(平成2年) 秋山豊寛さん日本人初の宇宙飛行
- 1995年(平成7年) 阪神淡路大震災 / 地下鉄サリン事件 / Windows95発売
- 1996年(昭和71年) ペレストロイカ改革 / チェルノービリ原発事故
- 2001年(平成13年) アメリカ同時多発テロ
- 2001年(平成13年) 雅子さまがご出産、敬宮愛子さまと命名
- 2002年(平成14年) 日韓ワールドカップ
- 2004年(平成16年) スマトラ島沖地震発生
- 2005年(平成17年) 愛・地球博開催
- 2008年(平成20年) リーマン・ショック、iPhone日本初上陸
- 2011年(平成23年) 東日本大震災、サッカー女子W杯優勝
- 2012年(平成24年) 東京スカイツリー開業
- 2016年(平成28年) 熊本地震
- 2019年(令和元年) 第126代新天皇・徳仁が即位
- 2020年(令和2年) 新型コロナ感染拡大
- 2021年(令和3年) 東京オリンピック開催

# Business information

## 事業案内



清掃



ビルメンテナンス  
事業部



設備保守管理



害虫防除



受付



空気環境測定



施設警備



交通誘導警備

## 総合ビルメンテナンス企業としての 矜持を胸に、全ての業務を丁寧に

清掃業から始まった三和サービスは、時代のニーズやお客様の声に応じながら、総合ビルメンテナンス企業へと成長し、現在では多種多様な業務を担っています。さらに2011年からはシルバー事業部(介護事業)も展開。これからもお取引先様や地域の皆様から信頼していただけるように地道に取り組んでいきます。

### シルバー 事業部 (介護事業)



福祉用具レンタル・販売



住宅改修

### 国有施設

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学  
岐阜北税務署  
岐阜南税務署  
大垣税務署  
関税務署  
多治見税務署  
多治見年金事務所  
可児宿舎  
中新町宿舎  
学園町宿舎  
138タワーパーク(三派川地区センター)  
河川環境楽園 自然発見館  
フラワーパーク江南(江南花卉園芸公園)  
大野極楽寺公園

### 県有施設

岐阜県損妻総合庁舎  
岐阜県科学技術振興センター  
岐阜県福祉・農業会館  
ぎふ清流文化プラザ  
岐阜県立関特別支援学校  
アネックス・テクノ2  
岐阜県人材開発支援センター

### 民間施設

岐阜中警察署  
岐阜北警察署  
岐阜羽島警察署  
各務原警察署  
多治見警察署  
垂井警察署  
養老警察署  
海津警察署  
揖斐警察署  
高山警察署  
下呂警察署  
岐阜県警察学校  
笠松競馬場  
岐阜県中央子ども相談センター  
ぎふ木遊館  
岐阜県シンクタンク庁舎  
養老公園  
岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター  
岐阜自動車運転免許試験場庁舎  
岐阜県立千草寮  
岐阜県中央家畜保健衛生所  
岐阜県文化財保護センター

**市有施設**  
岐阜市リフレ芥見  
岐阜市三田洞神仏温泉  
もとす広域連合老人福祉施設 大和園  
岐阜市西部コミュニティセンター  
岐阜市役所  
岐阜市上下水道事業部  
大垣市武道館  
大垣市墨俣地域事務所  
大垣市墨俣さくら会館  
大垣市墨俣保健センター  
大垣市墨俣保育園  
大垣市墨俣一夜城歴史資料館  
大垣市南部学校給食センター  
可茂衛生施設利用組合 可茂聖苑  
多治見市総合福祉センター  
サンホーム蒲呂  
ふれあいセンター姫

多治見市シルバー人材センター  
岐阜市科学館  
岐阜市斎苑  
**町有施設**  
神戸町介護予防施設「ばらの里」  
中山道愛知川宿街道交流館  
大野町庁舎  
大野町総合町民センター  
大野町図書館  
池田町庁舎  
池田町中央公民館  
池田町図書館  
池田町総合体育館  
池田町社会福祉協議会  
揖斐川町庁舎  
揖斐川町地域交流センター「はなもも」  
輪之内町庁舎  
西濃環境整備組合

岐阜県自動車会館  
岐阜県医師会館  
株式会社ユニオン  
岐阜県生コン会館  
医療法人 社団橋会 新生病院  
JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院  
JA岐阜厚生連 中濃厚生病院  
社会福祉法人擁重協会 西濃サンホーム  
柳津町商工会議所  
梅田ビル  
中部事務機株式会社  
内藤電機株式会社  
カイインダストリーズ株式会社 大和剣工場  
こすもす薬局鹿島町店  
綿半ホームエイド 江南店  
綿半スーパーセンター 可児店  
ぎふしんメール株式会社  
岐阜信用金庫 本部ビル  
岐阜信用金庫 第二本部ビル  
岐阜信用金庫 文書センター  
大成株式会社  
モレラ岐阜  
三菱UFJ銀行 大垣支店  
大日本土木株式会社  
株式会社イビデンキャリア・テクノ  
イビデン株式会社 衣浦事業場  
大成有楽不動産株式会社 名古屋支店  
SJMDCビル  
イオンディライト株式会社 東海支社  
イオンディライト株式会社 岐阜支店  
イオンモール各務原  
イオンタウン養老  
イオンタウン輪之内  
マックスパリュ各務原那加店  
マックスパリュ知多新知店  
ホテル長良川の郷  
メンテックス株式会社  
パロー三起屋店  
パロー武芸川店  
Vドラッグ多治見旭ヶ丘店  
株式会社宇佐美鋳油  
株式会社セイビ 名古屋支店  
中部電気保安協会 岐阜支店  
株式会社シーテック 岐阜支社

## ◀ お取引先施設一覧 ▶

中部電力パワーグリッド株式会社 岐阜支社  
株式会社山田商会 岐阜支店  
株式会社山田商会 岐阜導管事業所  
株式会社山田商会 各務原営業所  
株式会社山田商会 大垣事業所  
医療法人岐陽会サンライズクリニック  
医療法人 社団睦会 愛生病院  
東海美装興業株式会社 名古屋営業所  
あいおいニッセイ同和損害保険三河ビル  
メディセオ 豊橋支店  
東海装備株式会社  
レクサス岡崎  
名古屋トヨペット株式会社 商品化センター  
医療法人悠信会 介護老人保健施設ラポール  
医療法人悠信会 小森内科胃腸科  
医療法人悠信会 小森デイクア・リハビリセンター  
社会福祉法人 如水会 特別養護老人ホーム ぎふ愛の里  
医療法人のぞみ ゆり形成内科整形おおの  
学校法人立木学園 大野クローバー幼稚園  
ホテルパーク  
ホームセンターコーナン・コーナンPRO松阪塚本店  
中北薬品株式会社 岐阜支店  
桜ラーメン 北方店

**居宅介護支援事業所**  
株式会社華陽介護 華陽ケアマネセンター  
医療法人社団 慈朋会 居宅介護支援事業所 ほっと・ステーション サワダ  
医療法人社団 真生会 長森南ケアマネセンター  
社会福祉法人 蘇西厚生会 まつなみケアプランセンター  
特定非営利活動法人 介護まめ家 介護なんでも相談所  
大垣市社会福祉事業団 大垣市川中ふれあいホーム  
社会福祉法人 豊城会 友和苑 在宅介護支援センター  
社会福祉法人 白寿会 いぶき苑居宅介護支援事業所  
社会福祉法人 羽島郡福寿会 リバーサイド川島園 居宅介護支援センター  
社会福祉法人フェニックス フェニックス 在宅支援センター  
有限会社 あい かいご処 あい  
株式会社 介護サービス各務原  
社会福祉法人 三輪会 居宅介護支援センター かかせみ  
JAいび川 訪問介護ステーション  
医療法人社団 栄仁会 みどりの郷 介護支援センター  
社会福祉法人 祥雲海 居宅介護支援事業所 あかつき  
株式会社 アジア あさひケアプランセンター  
医療法人 岐阜勤労者医療協会 介護保険相談センター こがねだ  
まごころ 在宅介護支援センター  
同朋会 在宅介護支援センター  
指定訪問看護ケアビット  
社会福祉法人 三輪会 在宅介護支援センター 光の園  
ケアセンター かつらぎ

**地域包括支援センター**  
一宮市地域包括支援センター コムネックスみづほ  
社会福祉法人 羽島郡福寿会 各務原市地域包括支援センター リバーサイド川島園  
社会福祉法人 美谷会 各務原市地域包括支援センター 飛鳥美谷苑  
岐阜市地域包括支援センター 中央西  
岐阜市地域包括支援センター 中央北  
岐阜市地域包括支援センター 中央センター  
岐阜市地域包括支援センター 南部  
岐阜市地域包括支援センター 北東部  
山県市南部地域包括支援センター  
山県市北部地域包括支援センター  
関市中央第3地域包括支援センター  
笠松町地域包括支援センター

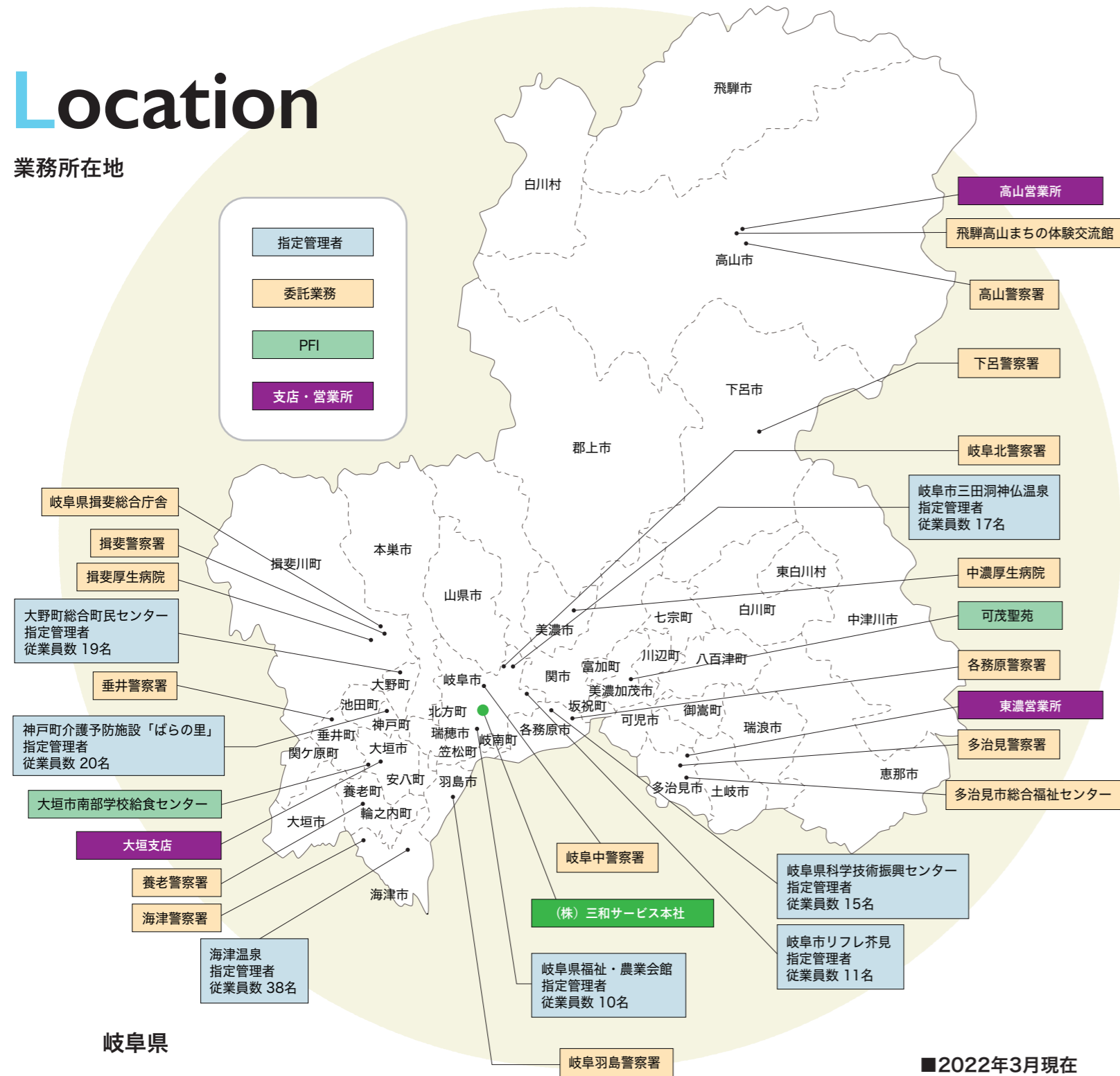
その他

【2022年7月現在まで】

# Location

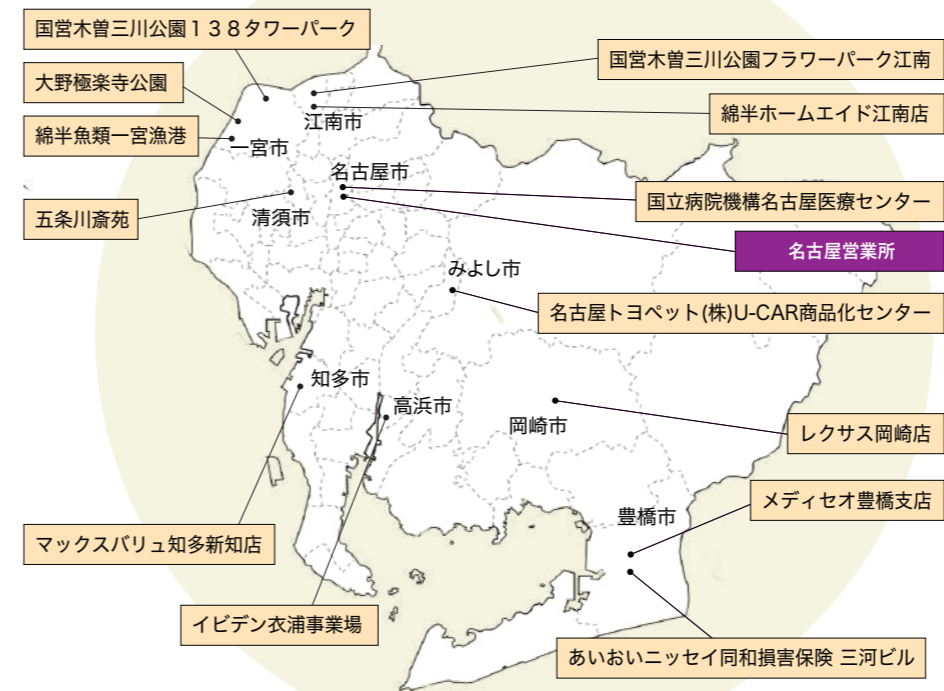
業務所在地

指定管理者  
委託業務  
PFI  
支店・営業所



■2022年3月現在

## 愛知県

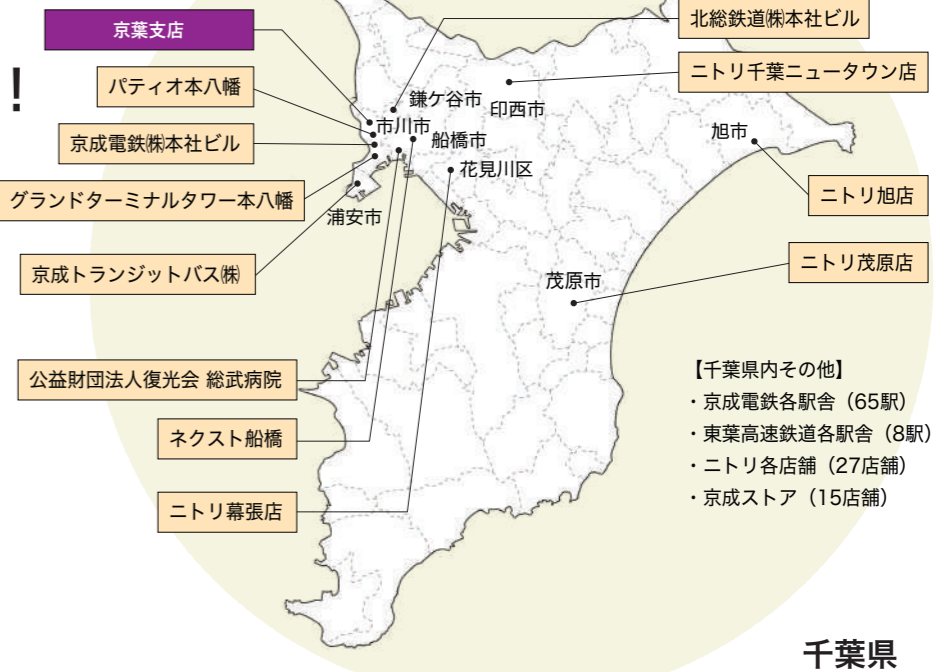


## 岐阜県内・県外に広がる三和の業務ポイントMAP!

三和サービス本社・支店・営業所をはじめ、2022年3月現在の業務ポイント（業務委託、指定管理者委任、PFI受契）をマップにマークして「見える化」してみました。本拠地・岐阜を主軸に、千葉、愛知、滋賀をフィールドに多種多様な施設の仕事を担っていることがよくわかります。

【2022年3月現在の実績】  
業務委託受託件数 213件  
指定管理者管理運営 8件  
PFI受契件数 1件

## 滋賀県



## 千葉県

# Workplaces

## 事業所紹介

### 支店・営業所

#### 京葉支店

千葉県市川市八幡2丁目15番地10  
本八幡駅前共同ビル7F

運営開始年月/2011年4月

##### 【業務内容】

東京都や千葉県を拠点に清掃業務、設備管理業務、施設警備業務、建築修繕・改修工事などのビルメンテナンス。



#### 京葉支店

支店長：田中 謙治

三和サービス京葉支店、支店長の田中と申します。京葉支店は、三和サービス業務拡張のため平成23年4月千葉県市川市に開設されました。開設当時は東日本大震災の直後だったため、なかなか仕事もなく苦労したことを覚えています。そのような時期にスタートした京葉支店ですが、昨年開設10周年を無事に迎えることができました。これは今まで関わっていただいた皆様のおかげだと、大変感謝致しております。

私たち京葉支店スタッフはビルメンテナンスの仕事はもちろんですが、お客様が困っていることや誰に頼めばいいのかわからないことなどを聞き取り、私達にできることはなんでも引き受けるといふ姿勢で仕事に取り組んでいます。これからも感謝される仕事を続けていきたいと思っています。今後も三和サービス京葉支店をどうぞ宜しくお願い致します。

#### 高山営業所

岐阜県高山市初田町2丁目66番地  
正和ハイツ

運営開始年月/1998年10月

##### 【業務内容】

主に警備業務(交通誘導業務)を行っています。業務場所は、高山市内の他、東は奥飛騨温泉郷、西は白川郷、北は飛騨市神岡町、南は下呂市萩原町等、飛騨一円で活動しています。また、その他として、高山警察署、下呂警察署、飛騨高山まちの体験交流館の3か所で清掃業務も行っています。

#### 高山営業所

所長：椿倉 勇治

私自身が三和サービスにお世話になってから、この4月で5年6か月になりますが、入った当時と比べ警備員数は3倍となり、これまでの毎年の売り上げも全てプラスで推移してきました。今後は、私自身「名実ともに高山市一番の警備会社にする。」という高い目標を掲げ日々頑張っていきたいと思っております。

### 指定管理施設

#### 大野町総合町民センター

岐阜県揖斐郡大野町黒野990番地

開館/1994年

指定管理開始/2007年10月1日

##### 【業務内容】

センターの設置目的である町民の皆様の教育、芸術、文化の振興及び福祉の増進を図るため、生涯学習講座の開講や、様々なコンサート、落語会などのイベントを企画開催しています。

また、施設・設備を常に快適で清潔な環境に保ち、複合型文化施設としての機能が十分に発揮できるよう維持管理を行い、大ホール、多目的ホール、リハーサル室、会議室、料理室、茶室、展示室などの施設をより多くの人に利用していただけるよう努めています。

さらに、町民の皆様の生活に密着した図書館としての機能を十分に発揮するため、毎月テーマを変えてのミニ展示や季節ごとの飾り付けなどを行い、図書館や図書に親しんでもらうよう努めています。

大野町総合町民センター  
館長：金森 英利

大野町総合町民センター及び大野町図書館は町の公の施設であり、常に公平な運営を行うことを念頭に置き、特定の団体等に有利又は不利になるような取り扱いをしないよう心がけています。



指定管理施設

## リフレ芥見

岐阜県岐阜市芥見6丁目283番地2

指定管理開始/2012年2月1日

【業務内容】

健康増進施設(歩行浴プール、トレーニングルーム、多目的ドーム、多目的ルーム)の運営。イベント開催(バレー、ヨガ、体幹トレーニング、エアロビクスなどの各講座や将棋の会等)

独自の取組

お客様目線に立つリフレ芥見独自のPDCAサイクルの実施、環境配慮、地域のスポーツ振興や社会活動の推進。

リフレ芥見

館長：関戸 浩治

管理開始から10年となり、「リフレ芥見と言えば三和サービス」と言われるように日々努めております。当館は高齢なお客様が多いため、安全で安心できる快適な施設づくりを目指しております。お客様目線での運営を心掛け、今後も健康増進施設として、憩いの場としての役割を果たしていきたいと思っております。



## 岐阜県科学技術振興センター

岐阜県各務原市テクノプラザ1丁目1

指定管理開始/2012年4月1日

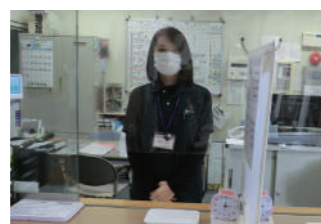
【業務内容】

岐阜県の県有施設「岐阜県科学技術振興センター」と㈱ブイ・アール・テクノセンターの合築施設になっており、民間企業も入居している珍しい施設となっております。この施設の維持管理業務が主な仕事になります。

その中で貸出会議室運営業務、科学技術図書資料室運営業務、設備維持管理業務の3つの仕事があります。

施設は、国際的な活動をしていたイギリスの建築家リチャード・ロジャース氏の設計。建築物としても評価の高い施設となっております。外観を損ねないことを前提に維持管理を行っております。

自主事業は、施設を知ってもらうため小学生の親子を対象にした「わくわく夏休み」、「わくわく冬休み」、「わくわくプログラミング教



## 岐阜市三田洞神仏温泉

岐阜県岐阜市三田洞222番地

指定管理開始/2012年2月1日

【業務内容】

高齢者、身体に障害のある方々の福祉増進のため、長良川温泉源泉を利用した温泉施設の運営を行っています。お客様の心身の健康を図るために年間100回を超える教養講座(ヨガ、ちりめん細工、ピアノなど)の開催や、端午の節句・七夕・クリスマス・桃の節句などの飾りつけ、クリスマスliveなどの季節イベントを開催しています。

また、館内や中庭、駐車場には四季の花々が咲き誇り、お客様の心を潤わせています。この花々は、スタッフが業務の合間を縫って愛情たっぷりに丁寧な管理を行っている賜物であり、お客様が感嘆の声をあげられる程となっております。

室」等イベントを開催しております。地域貢献活動を含めて参加無料イベントとなっております。

貸出会議室では、無料でインターネットが利用できるようLAN環境を整備しました。様々な会議が出来る環境を用意しております。

岐阜県科学技術振興センター

所長：松井 志乃江

現代建築が自慢の施設です。館内が作品となっており、自然豊かな環境と素敵な空間を体験できます。施設運営はお客様の声を大切にし、安全・安心・快適な環境を目指して運営しております。

岐阜市三田洞神仏温泉

支配人：伊藤 直樹

岐阜市三田洞神仏温泉は昭和40年代から地域密着の温泉施設として親しまれてきました。そのような中、平成24年2月から㈱三和サービスが管理運営を担い、親切丁寧な対応や季節イベント、教養講座の充実により地域の皆様にはより一層愛される施設運営を行ってきました。昨今、低山登山ブームにより、三田洞神仏温泉周辺の里山には遠方から来られる方が多くみられ、当施設への立ち寄りも増えています。

今後、地域の高齢者のみならず、ファミリー層や若年層が気軽に立ち寄ることができる雰囲気づくりに努め、豊かな自然環境と相まって特色ある温泉施設を目指します。



指定管理施設

## 岐阜県福祉・農業会館

岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

指定管理開始/2015年4月1日

【業務内容】

岐阜県福祉・農業会館は、補装具の展示、福祉相談等のため、並びに社会福祉・農業に関する集会等を目的とした県の施設です。館内には、福祉・農業に関わる30以上の団体様が入居し執務を行っています。また、4つの貸会議室(大会議室・研修室・2南会議室・5南会議室)が設置されています。

私ども三和サービスは、この施設の指定管理者となり、会館の維持管理、貸会議室の貸し出し業務など運営業務を行っています。



### 岐阜県福祉・農業会館 館長：井貝 正美

施設には、30以上の入居団体の約500人以上の入居者様がお仕事をされています。私どもは、皆様に快適な環境でお仕事をいただけるように、設備管理・清掃・運営管理に真摯に向き合い対応してまいりました。今年度で7年目となりますが、今では信頼される指定管理者になってきているのではないかと感じております。

これからも、お客様の信頼をなくさないように、初心を忘れず努力していきたいと思います。



## 神戸町ばらの里

岐阜県安八郡神戸町神戸1001-2

指定管理開始/2012年4月1日

【業務内容】

神戸町ばらの里は、神戸町民の方々が高齢になっても元気で健やかに過ごしていただくことを目的とした介護予防施設です。入浴施設・運動室・休憩室・創作室・ホール・喫茶ルームがあります。

清掃設備管理はもちろんのこと、運動室では「いきいき健康教室」や「転ばぬ先の杖教室」を、休憩室やホールでは「将棋大会」、ホールでは「コストコフェア」など多様な教室やイベントも開催・運営。また、貸室などの管理運営、喫茶ルームの運営も行っています。



### 神戸町ばらの里 館長：白木 角夫

この2年間はコロナ禍でほとんどのイベントが中止になり、お風呂も体操教室も入場制限を行い、消毒、検温、入館者名簿作成などを実施。受付や会議室もアクリル板でコロナの飛沫防止をしてお対応しています。1日も早く以前の生活に戻れることを祈りながら、従業員一同頑張っています。

## 中山道愛知川宿街道交流館

滋賀県愛知郡愛荘町愛知川38番地2

指定管理開始/2018年8月1日

【業務内容】

愛知川ふれあい本陣は、愛称を一般公募して決定しました。

愛知川ふれあい本陣は、敷地内に3つの施設があり、一番手前の情報発信施設は、愛知川の文化、観光情報を発信する施設で、来館者対応は、愛荘町観光協会が担っています。

敷地中央の飲食提供施設は、和風喫茶「なごみ・カフェ」で、モーニングサービス、うどん、そば、丼物、ラーメン、パスタ、カレーハヤシなどバラエティにとんだ岐阜のご当地グルメを提供するカフェです。

敷地奥の体験交流滞在施設は、1階が貸室、2階が宿泊施設となっております。1階では、カルチャー教室を開催し体験と交流ができます。現在は、朗読教室、こども英会話教室、朝ヨガ・モーニングを開催しています。



### 中山道愛知川宿街道交流館 管理責任者：竹村 和修

ウイズコロナ時代の新しい働き方でテレワークという新たなニーズに対応するため、1階和室をコワーキングスペース、2階宿泊室を個室オフィスとして利用できるように施設整備をしました。テレワークや起業を目指す方、新たな異業種交流を求めの方々に利用していただけたいと思います。

今後は、愛荘町の拠点を活かし、滋賀県で三和サービスの業務拡大を目指してまいります。



# Logo mark

ロゴマークの変遷

## 会社の顔、私たちの拠り所 歴代ロゴマーク

林ビルサービス株式会社(株式会社三和サービスの前身)時代は、林信之会長の家紋「左三つ巴」をモチーフにしたロゴを使用。これが歴代ロゴの最初で、左三つ巴の中に「林」の一字が入っていたものと思われそうですが、残念ながら現物はありません。その後、株式会社三和サービスに社名変更し、1990年頃には三和の「三」をモチーフに「S」をあしらったロゴを使用。これは当時在職していた林知恵さん(会長の長女)らが中心となりデザインしました。

現在のロゴは1999年にプロのデザイナーが制作したものです。赤のラインは動脈、緑のラインは静脈を表し、「人」の力が生み出す「人」に寄り添う仕事を象徴しています。



創業当時  
※イメージ



1990年頃～



# sanwa

1999年～現在

# Decorated

叙勲

## 林信之会長が旭日双光章を受章

三和サービス創立50周年の節目の年に、林信之会長が旭日双光章・生活衛生功労を受章。米寿とともに叙勲の喜びが重なりました。

林会長は当社創業3年後の昭和51(1976)年、岐阜県ビルメンテナンス協会理事に就任。同協会の社団法人化に積極的に取り組み、法人化後は副会長、会長、相談役を歴任。ビルメンテナンス業界全体の業務改善をはじめ、業界に携わる者自身の意識改革を推進して、認知度アップや地域からの信頼獲得に注力しました。



受章と日頃の感謝の気持ちを込めて  
記念品を贈らせていただきました。  
(原画:陶芸家 加藤 卓男氏)

### 【岐阜県ビルメンテナンス協会に関する歩み】

- 昭和51(1976)年6月 岐阜県ビルメンテナンス協会理事に就任
- 昭和56(1981)年9月 社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会理事に就任
- 昭和58(1983)年9月 清掃作業従事者研修責任者講習講師となる
- 昭和59(1984)年8月 社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会副会長に就任
- 昭和59(1984)年8月 社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会教育研修委員長に就任
- 平成7(1995)年8月 社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会会長に就任
- 平成9(1997)年9月 岐阜県ビルメンテナンス政治連盟理事長に就任
- 平成9(1997)年9月 全国ビルメンテナンス政治連盟評議員に就任
- 平成15(2003)年6月 社団法人岐阜県ビルメンテナンス協会相談役に就任(平成21年5月迄)

### 【表彰・受賞】

- 昭和62(1987)年7月 社団法人全国ビルメンテナンス協会会長表彰
- 昭和63(1988)年11月 厚生大臣表彰(建築物環境衛生功労者)
- 平成8(1996)年5月 岐阜県警察本部長・社団法人岐阜県警備業協会会長連盟表彰



日頃からお世話になっている皆様から沢山の胡蝶蘭をいただきました。

# Brightness ①

社内報アーカイブ 2001-2022

## 社員も会社も“輝く”ために！ 2001年から社内報を年4回発行



▲2001年7月25日 第一号発行

公募により決定した社内報のタイトル「Brightness(ブライトネス)」は輝きという意味。ネーミングしたのは当時本社管理部に在籍していた岩田わか菜さんです。発行当初から社内報の制作は、社員による編集委員と外部のデザイン会社の協働で行っています。掲載内容はグループ各社の情報をはじめ、時流に即したテーマの特集、社員間のコミュニケーションにつながるものなど。2013年からは年2回、林信之会長と林正和社長のインタビュー記事を掲載しています。



Next 25

# Brightness ②

社内報アーカイブ 4 コマ漫画

## 大切なテーマこそ、楽しく共有！

社内報2019年春号からスタートした4コマ漫画「サンワのWa!」は、心がほっこり和む企画。三和グループの仕事紹介ほか、最近では「withコロナ」、「SDGs」、「DX」などのテーマも取り上げ、日常のクソツと笑える場面や会話で展開しています。

# サンワのWa!

作/三宅よしこ



Brigtiness 72  
| 2019年 春号 | 掲載  
No.1



Brigtiness 73  
| 2019年 夏号 | 掲載  
No.2



Brigtiness 74  
| 2019年 秋号 | 掲載  
No.3



Brigtiness 75  
| 2020年 新春号 | 掲載  
No.4



Brigtiness 76  
| 2020年 春号 | 掲載  
No.5



Brigtiness 77  
| 2020年 夏号 | 掲載  
No.6



Brigtiness 78  
| 2020年 秋号 | 掲載  
No.7



Brigtiness 79  
| 2021年 新春号 | 掲載  
No.8



Brigtiness 80  
| 2021年 春号 | 掲載  
No.9



Brigtiness 81  
| 2021年 夏号 | 掲載  
No.10



Brigtiness 82  
| 2021年 秋号 | 掲載  
No.11



Brigtiness 83  
| 2022年 新春号 | 掲載  
No.12



# Promotions

## 歴代ジャンパーと記念品



□本社スタッフ用ジャンパー



□現場スタッフ用ジャンパー(男性用)



□現場スタッフ用ジャンパー(女性用)

## 日々のスタイルも 節目を彩る品々も愛しい歴史

これまで着用してきた「スタッフジャンパー」を並べてみました。デザインの変遷に時代を感じますが、いずれも機能性と清潔感、明るさなどを考慮した、その時代のベストチョイスです。右ページでは「記念品・ノベルティグッズ」をご紹介します。この小さな品々も会社の歴史を物語る大切な存在です。



歴代スタッフジャンパー



ワイン



香炉



付箋

## 歴代記念品

平成11(1999)年2月に完成した現社屋の内祝として、多治見市の焼き物の「香炉」を記念品として調達しました。当時の我が社の役員、増田昭三氏(故人)が人間国宝の加藤卓男氏に依頼し、願いが叶った品です。

## 創立50周年記念品

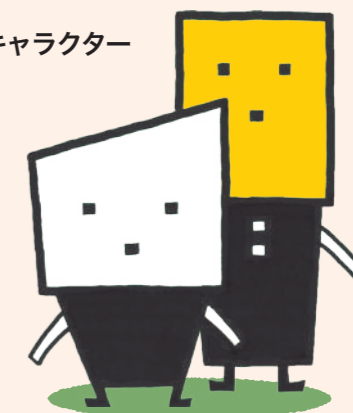
今回の記念品は、三和サービスの「三」を基に、3つの記念品を考えました。

- ①50年という「歴史」を託した岐阜県の伝統工芸品
- ②「SDGs」の今を考慮したエコバッグ
- ③「東海地区」の伝統的な考えを基に焼き菓子

### ②エコバッグ



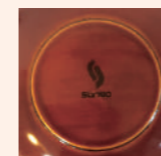
### キャラクター



創立50周年を記念して創作したオリジナルキャラクターは、三和サービスの原点・ビルメンテナンス業から想起した2人組。制作はイラストレーターの谷口土史子さん。名前はグループ内公募し、本社総務部・森本匡俊さん考案の「つむぐ・つなぐ」に決定!



お盆裏



茶托裏



①飛騨春慶塗 お盆と茶托



③焼き菓子(瓦煎餅)

# Cleaning tools

清掃道具の変遷

## 床を磨くという「原点」を支える道具、そして人の努力

清掃業から出発した三和サービスにおいて、床を清掃し、床を磨く作業は原点といえます。会長のお話の中にもありましたが、半世紀前、最初に揃えた道具の一つがポリッシャーだったそうです(P10)。

創業当時も今も、ビルメンテナンスにおいて床掃除に欠かせないのは、洗浄の役割を担う電気ポリッシャーです。清掃業に関わりのない人でも、オフィスビルやコンビニなどで一度は見かけたことがある人も多いのではないのでしょうか。

電気ポリッシャーは、モーターで円形のブラシやパッドを回転させて、「床の洗浄」、「ワックスの剥離」、「床の研磨」などの作業を行う機械で、床清掃の道具であるデッキブラシと比較すると、洗浄力・作業スピード・作業効率などが格段に向上します。

本ページに載せた「電気ポリッシャー」のカタログはレトロな雰囲気ですが、これは創業時に使っていたものと同様のタイプと思われます。

電気ポリッシャー

新製品 **Bシリーズ**

CMP-100B  
CMP-120B  
CMP-140B




- ★ 足踏ペダルにより簡単にハンドルの角度を固定できます
- ★ 新考案のブラシ取付金具によりブラシの着脱はきわめて容易に確実にできます
- ★ 専用モーターとオイル式ギヤ機構が一体となって居り故障の心配は全くありません
- ★ コードはアース線付ですので感電防止は完全です
- ★ ダイナミックバランスと低重心の理想的機構により静かな運転音、使い易い安定性が特長です

B型ブラシ取付金具：Bシリーズ各機種共通 速く、軽く、確実

創業時の床用ポリッシャー



床用ポリッシャー

現在



振動回転方式床用ポリッシャー

1985年



自動床洗浄機

現在



搭乗式自動床洗浄機



こちらのページでは、現在使用している「床用ポリッシャー」、「振動回転方式床用ポリッシャー」のほか、「自動床洗浄機」の変遷をご紹介します。

創業時の清掃業では、主力は床の清掃だったそうです。林会長のお話では「ポリッシャーの機能としてはあまり変わっていないけれども、時代の流れに合わせて、大型化・自動化が進んでいきました」とのこと。

機械を的確に使いこなすテクニックを磨き、より清潔で快適な空間を生み出すことは私たちの腕の見せどころ。道具である機械の変遷とともに、〈今〉につながる先輩諸氏の努力の積み重ねにも思いを馳せたいと思います。

# Employee benefits

福利厚生

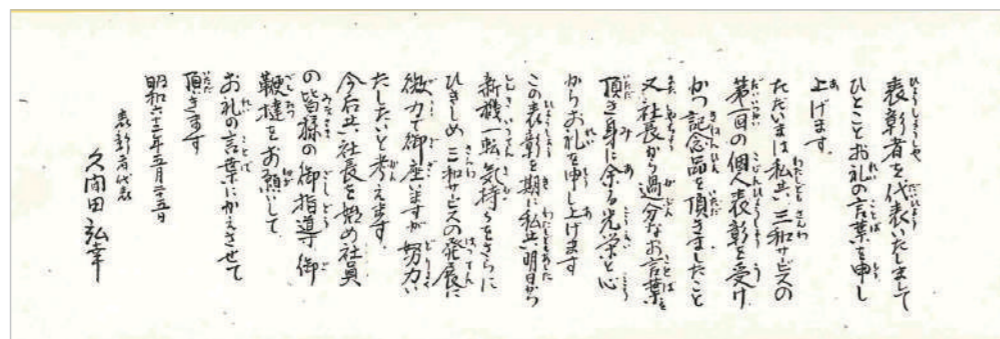
## 永年勤続者 表彰式



## 「人」の力と「人」の和が 我が社のエネルギー

半世紀に渡り、多くの社員・スタッフが懸命に仕事をし、会社を支えてきました。

アルバムに残る永年勤続者の表彰の様子をご覧ください。辛い、語り合い、良い時間が流れています。今は集まる機会を持ちにくいコロナの時代ですが、再び各所の社員が笑顔で集まり、それぞれの尽力を讃え合い、励まし合える日がくることを願っています。



受賞した社員からの感謝状



## 当時を振り返って 会長のコメント

三和サービスが管理する施設も多くなった頃、大企業の工場閉鎖によって多くの人が当社に入ってきたこともあり、皆で親睦を図ることを考えました。この時代は会社や現場で皆が集まって飲んだり食べたりして楽しむことが自然でしたので、誕生日会も開いていました。

会社としては従業員の皆が仲良く楽しく働いてくれることが願い。誕生日会など親睦を深める機会は、社長も社員も上下関係もなく、楽しく酒を酌み交わしたことが思い出されます。

## 親睦会



## 誕生日会



## 編集後記

2022年3月3日法人登記から50年。記念誌には会長林信之が歩んできた道が見えます。

平坦な道ではありませんでした。50年という歴史の中で色々な方に支えられ、助けていただいたからこそ今があります。それに違いはありません。しかし創立時代、一般的な家庭が暖かい家の中でテレビを観ながらお酒を飲み暖かい布団で就寝しているときにも、会長林信之と(故)林多恵子は必死で清掃という仕事をしていたことが50年という歴史の礎であります。今現在も米寿を迎えた会長は、DXに向けて日々勉強をしています。

創立から現在までの変わらない姿です。それは、今に満足せず常に新しい時代に沿った勉強をしコツコツと努力を続けることを教えてくれています。この会長が皆様と共に歩んできた道の50年誌が皆様のお役に立ちますと幸いです。

最後に50周年記念誌完成にあたりご尽力を賜りました全ての方々に感謝申し上げます。さらに、創立50周年記念事業実行委員4名には多大なる力を注いでいただき、実行委員会の委員長として改めて心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。では、ネクスト25でお会いしましょう。

### 創立50周年記念事業実行委員会

実行委員長 林 信美  
実行委員 竹村 和修  
中野 克哉  
水野 恵美子  
小川 知紗

### 株式会社三和サービス 創立50周年記念誌

編集：創立50周年記念事業実行委員会

令和4年 9月発行

岐阜県岐阜市西鶉1丁目52番地  
<https://www.group-sanwa.co.jp>

